

2月 例会報告

考えよう！赤川花火大会の 未来について

赤川花火運営会議総括幹事

佐藤正晴



今回の例会は、テーマを花火大会の開催時期に絞り、赤川花火大会の現状や今後の展望に関して、二つの方向から情報を収集・分析し、討論会形式で発表することで、現役メンバーの皆様至今已以上に赤川花火大会について知っていただき、より一層すばらしい大会とするための議論を行うきっかけとなればと考えて準備してまいりました。そして、今後の地域活性化に欠かせないこのイベントを何とか盛り上げていければと考えておりました。これまでに、花火大会実行委員会の作業の合間に準備を進めてきまして、運営会議メンバー一同、精一杯やったつもりではございますが、準備期間が十分にとれなかったために、例会後のアンケートで皆様より厳しいお言葉も頂きました。今回初めて花火大会に関する議論に参加された方々については、ある程度理解を得られたものと考えておりますが、今までに『赤川花火大会を考える』などに

参加された皆様におかれましては、物足りない例会となってしまった感があると思います。今後、今回の資料及びアンケート結果などを赤川花火検討委員会に引き継ぐわけですが、引き続き赤川花火大会について深く議論していくことは、(社)鶴岡青年会議所としてさけては通れない、また、先送りにしてもいけないすごく大切な事ではないかと考えます。引き続き、皆様から真剣に討議していただいて個人的には赤川花火大会を何とかすばらしい形で存続していけたらと考えております。また、今年の第十七回赤川花火大会の準備も着々と進んでおりますが、皆様からのより一層の御協力をお願いいたしたいと存じます。最後になりますが、今年一番の悪天候の中、会場もいつもと違う条件でご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。



2007年度 役員紹介 その2



赤川花火運営会議
議長
野口 義明

赤川花火運営会議という委員会名と、議長という役職名に戸惑っているところではありますが、精一杯努めて参りますので一年間どうぞよろしくお願いたします。当会議（委員会）は名前のとおり、赤川花火大会を成功に導くための委員会です。

構成は昨年度の新入会員4名、今年度卒業が6名、中堅が8名の計18名と大所帯の委員会です。

このメンバー全員が赤川花火大会では部会長か、副部会長の役職を努めさせていただきます。JCという委員長、副委員長と同等の役職です。今大会は様々な意味で転換する大会になるのではないかと思います。皆様方に喜んでいただき、そして満足していただける大会にしたいと思っております。LOMメンバーには、部会長、副部会長へのご協力をなにとぞよろしくお願いたします。



赤川花火運営会議
副議長
山崎 亮

2007年度(社)鶴岡青年会議所 赤川花火運営会議 副議長ならびに第十七回赤川花火大会 副実行委員長を仰せつかりました山崎亮です。

私は、2003年度に入会し、第十三回赤川花火大会から大会運営に携わって参りましたが、今後の大会運営・組織・開催時期・花火業者などの問題を、青年会議所・実行委員会として真剣に考えなければならない時期にきております。そのような時期に花火大会に携わる事は、大変光栄に思い、やりがいを感じております。

「感動花火日本一!!～そして夢のはじまり～」をテーマに、安全第一で、来場して頂いた全ての方に感動して頂ける様、一年間、委員会メンバーと共に精一杯努めさせていただきます。

最後になりますが、LOMメンバー皆様の御協力のほど何卒よろしくお願申し上げます。



公益法人化準備会議
議長
齋藤 正至

鶴岡青年会議所は、今日まで社会のニーズに対応すべく、JC活動を通じて様々な事業を行って参りました。この会議体では多くの先輩が積み重ねてきた実績と、現在のJC活動における社会への貢献度、そして問題点等を検証し、新たな創造を生み出し、今後に繋がる具体的な方策を見つけ提言したいと考えております。

また、公益法人改革に伴い、当青年会議所もこれに対応すべく、“公”を担うにふさわしい民間主体になるために、皆様に必要とされる確固たる組織づくりを進めて行かなければなりません。そのために、どのような選択肢、またどのような方向に進むべきなのかを模索し提案致します。LOMの夢の実現のため力の限りを尽くし努力致します。一年間どうぞよろしくお願いたします。



公益法人化準備会議
副議長
五十嵐 靖

今年度公益法人化準備会議副議長を務めます五十嵐靖です。

公益法人制度が制定されて以来、様々な社会情勢や日本人の心や習慣の変化があり現在の法律の枠組みでは解決出来なくなっている問題が多くあります。時代にマッチした制度にするため公益法人制度の大改革が行われました。(社)鶴岡青年会議所も例外にもれず、その存在自体の意味が問われようとしております。どのような青年会議所活動が地域貢献につながるのか、またそれらを青年会議所活動の基本である「修練」「奉仕」「友情」と理想である「明るい豊かな社会を築き上げる」にどう結びつけ公共心を養いながら、地域との協働により社会の発展に貢献することが出来るようになるのか、一年を通し法律、地域の要望、また会員が求める青年会議所活動を研究し、よりよい活動のあり方を提案致します。

3月第二例会 ご案内



研修委員会委員長
草島 孝志

3月第二例会では以前にアンケートでもお知らせの通り、埼玉県比企郡小川町より「おがわ温泉・花和楽の湯」代表、新田悟詞氏をお迎えし、「地域振興の中核となる事業展開のあり方」というテーマのもと同氏の地域振興への取り組みやこれからの事業展開についてお話しいただきます。

例会目的として「発想と視点の転換による意識啓蒙」を掲げさせていただきました

が、まさに今、社会は大きな発想の転換が求められています。不二家や夕張市の例を見るまでもなく硬直化し旧態依然とした多くの企業や自治体が存続の危機に瀕しています。これらの現状からもわかるとおり、これからの経営には常に新しい発想と行動が不可欠ではないでしょうか。新田氏は、温泉開業という永年の夢を

実現され、その温泉施設を起点に多彩にして独自の事業を展開され、小川町の発展に尽くされています。今では多くのマスコミも注目する一大観光地として小川町はもとより埼玉をリードする存在になっています。

この新田氏の実体験は、私たちにとってもこれからの鶴岡を展望する上で大きな示唆となると確信しております。年度末の大変ご多用な時期ではございますが、皆様のご参加を心よりお願申し上げます。

● 理事会より3月の予定 ●

- 3月2日(金) 3月第1例会
- 3月8日(木) 第3回理事会
- 3月23日(金) 3月第2例会
- 3月29日(木) 第4回常任理事会

2007年度 出向者紹介



財政特別委員会
副委員長
恩田 健次

2007年度(社)日本青年会議所 東北地区協議会

今年度、東北地区財政特別委員会に副委員長として出向させて頂いております。財政特別委員会の活動としては、東北地区協議会及び東北地区内の6ブロック協議会の本会計、委員会会計が「公益法人会計基準」並びに「会計マニュアル」に準拠し適正に処理される様、予算、決算の作成の段階から指導、助言、審査を行います。その目的は、予算の立案、決算の報告に於いて公益法人として適切な用途に充当し「公益法人会計基準」に則った報告を行いその事業目的が達成されることです。新公益法人会計基準は、今年度より出来るだけ速やかに、「改正・公益法人会計基準を適用すること」とされました。東北地区協議会においてもこの新会計基準に準拠する様、準備をしなければなりません。そして東北地区78LOMへ波及させ、全LOMが新会計基準に適應できるよう支援して行く予定です。初めての地区協議会出向となりますが、ラストにもかかわらず幹事として一緒に御出向頂いております齋藤正至君と共にがんばってまいります。



地域政策委員会
委員長
佐藤 正廣

2007年度(社)日本青年会議所 東北地区山形ブロック協議会

2007年度(社)日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会に地域政策委員長として出向しております。昨年は事務渉外委員会の一委員での出向をしておりました。会員会議所会議の中でマイク廻しをしていた自分がいきなりの役員出向で役員席に座っていると戸惑う部分もありますが、昨年の経験を活かして一年間頑張っていく所存です。また今年の山形ブロック会長の山口直人君は昨年来から存じ上げている優しい方なので安心と思いきや、もともと会長は本年度の自分の担当である地域政策通であることが最近判り、地域政策関連の議案上程はかなりの神経を使っています。(おかげで太りました。)いずれにせよ、これもよい経験と思い活動の中で培うノウハウをいずれLOMに還元したいと考えながら今日も東西南北、山形県下のどこかを運転して回っています。

山形ブロック アカデミー委員会 開校式

山形ブロックアカデミー委員会委員 小林 範正

1月27日、長井市タスパークホテルにて「山形ブロックアカデミー委員会開校式」が開催されました。はじめての出向ということ、また、はじめて他のLOMの方たちとの交流ということもあり、とても緊張しながら参加させていただきました。ブロック会長や委員長の挨拶では、「個人の進化がLOMの進化につながる。また、LOMが活性化すれば、地域が活性化する。そのためにアカデミー委員会では、個人を高める修練の場としてがんばってください。」とのお言葉をいただき、改めて自分がJAYCEEであり、「明るい豊かに社会」つくりのために一役を担っていかなくてはいけないと、気持ちが引き締まる思いでした。

1年間、この委員会事業に参加して自分を高めるためにがんばって行きたいと思います。



クローズアップ 新人

～入会いきいき
女性メンバー紹介～



2006年入会
粕谷 美穂

入会予定者の説明会に参加したのが去年ちょうど今頃...。あっという間に一年が経ってしまいました。この一年間で感じたことは、「メンバーの皆さんが多芸多才!」ということです。真剣な討論会からくだけた楽しい会まで、何でも軽々とこなしてしまうJCメンバーの皆さんを尊敬しています。これといった才能や特

技のない私にとって鶴岡青年会議所はかなり厳しい修行の場になりそうです。

まず、第一の壁はパソコン。私が出来るのはWordくらい。例会で何気なく使われているパワーポイントに至っては、全くご縁がなく、プログラムを開いたのは、手が狂って誤って開いた数回のみ。(もちろんすぐ閉じました)

「アナログ人間から脱皮しなくては!このままではお荷物になってしまう!!まず自分専用のパソコンを買おう」そう決心してから、はや半年。こんなペースではいかん!2007年こそはスピードアップして、すこしはお役に立てるようになります。こんな私です、どうか大きな心で御指導ご鞭撻の程、なにとぞよろしくお願いいたします。

釣道

～鶴岡の釣り文化～

【参ノ章：出会いは人生も変える】

私が初めて磯釣りに出掛けたのは、小学校高学年野外授業の一環で学ぶ、秋の遠足である。

遠足の朝、出掛けに母から「おなんこがら竿跨がいるど釣れなくなつたら」の意味不明な一言と「海は梅干嫌うがら、おにぎりさ別の物入れでおいだがらいっばいこい」の又意味不明な一言。今でも梅干は謎である。現在も磯釣りに出掛ける時は梅干以外のおにぎりをかみさんが握って送り出してくれる。

さて話を戻すと温海温泉から竿をかついで歩くこと1時間あまり、ようやく大岩川の磯場に着くと先生の諸注意も終わり、いざ思い思いの釣場で糸をたらす事1時間、ようやく友達と私にアタリが来はじめる。藻エビを付け海に…その瞬間驚くほど強い引きが有り、長さ1間半の竹竿がきれいな満月となり、格闘の末上がったのは赤い平物、大急ぎで先生に釣り上げた魚を見てもらうと立派な三歳タナゴであった。この1枚のタナゴが私の人生を変える1ページとなる。

就職も決まり、東京から23歳で帰省した当時鶴岡では秋の磯釣りが盛んで、企業訪問の際は黒鯛の話で盛り上がっていた。釣道に磨きを更に懸ける為、今は亡き渡邊師匠のもとへ弟子入りし3年でフカセ釣りの免許皆伝を言い渡された。趣味と仕事も順調に推移していた頃、小田産業社長から青年会議所へのお誘いがあり入会。会員交流委員会所属当時、意気盛んと談義するメンバーの1人に、私を鍛える為か機関銃のごとく詰め寄ってくる若者がいた。土田一彦氏である。土田氏に釣りの話をすると「大海に糸を垂らす愚の骨頂」などと言われ交わされた。数日後連絡があり町内会で船釣りがありメンバー不足の為、「俺もでっからヤッサン頼む」とお願いされ船出となった。たまたま大漁で愚の骨頂どころか現在は黒鯛釣りの名人まで腕を上げている。

又、当時は口も聞いて貰えない大先輩で浅賀隆氏との出会いが合った。先輩からいきなり「釣りを嗜む様だがウキか？フカセか？」「はいフカセです」と答えると先輩は「そうか」とニヤリと微笑むと去っていった。今考えるとウキと返事をしていたら現在は先輩との出会いは無いと思われる。

人生の出会いに乾杯！



筆 ヤッサン

発行：2007年度 社団法人鶴岡青年会議所
〒997-0802 山形県鶴岡市伊勢原町8-5
TEL 0235-24-0377 FAX 0235-22-5090
発行責任者：佐々木 一 広
制作責任者：広報委員会委員長 小池 信 治
発行日：平成19年3月7日
ホームページ <http://www.tsuruoka-jc.info>

鶴岡の祭り・イベント

3月1日(木)～4月3日(火) 鶴岡雞めぐり・鶴岡雑物語

3月1日(木)～3月31日(土) 雞体験

(陶芸・絵ろうそく・お雞菓子づくり)

3月1日(木)～4月上旬 湯のまち人形めぐり (温海温泉)

3月17日(土) 安丹神楽 (安丹公民館)

3月23日(金) 春日神社祈年祭 (黒川能)

3月下旬～4月上旬の日曜日 湯田川温泉「梅まつり」

4月10日頃～5月上旬 あつみ温泉桜並木ライトアップ

4月下旬の日曜日 温海さくらマラソン大会

4月15日(日) 巖島神社祭典 (鼠ヶ関神輿流し)

4月15日(日) 白山神社例祭 (由良)

4月18日(水)～20日(金) 六所神社神楽 (上藤島)

4月中旬 海坂の桜小祭り (鶴岡内川ほっとパーク)

4月中旬 庄内クラフトフェア in 松ヶ岡 (松ヶ岡開墾場)

4月中旬 松ヶ岡桜祭り

4月中旬 鶴岡桜まつり

4月下旬 しゃりん旬菜祭り (温海地区道の駅あつみ)

4月29日(日) 長沼八幡神社神楽舞 (藤島)

4月30日(月) (宵祭り) 由豆佐売神社例祭 (湯田川温泉)

赤川花火トピックス

赤川花火運営会議議長 野口 義明

1月末に第1回執行部会議を終え、2月に入り各部会活動がよいスタートしました。新人部会長のもと、手探りながらも直前部会長や先輩に教えてもらいながら着実に進歩している部会や、経験豊富で念願の部会長のもと、いつも通りのスムーズなスタートを切った部会もあり、そしてまた、勢いに任せてすでに2回目の部会を開催し、走り出したところもあります。各部会とも第2回実行委員会に向けて着実に準備・活動している毎日です。具体的な活動内容としては、各所に市民募金のお願いに伺ったり、今大会初の協賛活動も行ってきました。それから一部の花火業者さんにも挨拶に行ってきましたので、もうすでに、今年の花火もかなりすばらしいものになりそうな予感ができております。今後いよいよ本格化する花火大会の準備に皆さんのさらなる御協力をお願いいたします。

◆◆◆ 会員募集要項 ◆◆◆

募集対象者／鶴岡市、三川町に居住、または勤務している20歳から40歳の青年会議所運動の精神に賛同し、

「明るい豊かな社会作り」を志す青年とします。

応募条件／(社)鶴岡青年会議所正会員2名の推薦を必要とします。

入会時期／2007年4月より

※詳しくは、事務局(0235-24-0377)が正会員まで。詳しい募集要項や説明会の日程は別途ご連絡致します。

編集後記

暖冬と言われても、「いくらなんでも2月には雪は積もるだろう」と思っていたのですが、暖冬のまま2月も終わりました。こんな年もあるのかと思えばいいのか、地球温暖化が深刻だと思えばいいのかについては、知識不足の私にはわかりません。そんな中、新年度体制がスタートして2ヶ月が過ぎ、まもなく春を迎えようとしています。またこの時期、新入会員拡大活動が盛んに行われています。大変な活動ではありますが、こちらは春先の寒波という異常気象なことではなく、暖冬から温暖な春への移行ができますように広報委員会としても、皆様に「JCをPRできる紙面作り」を引き続きがんばっていききたいと思います。(もじ)